

鶴巻の岡七郷小学校だより



学校教育目標：○なかよく ○かしこく ○げんきよく

めざす学校像：3つの全力が輝く学校（絆の全力・静の全力・動の全力）

令和6年9月号

パリ五輪から学ぶべきこと



今年の夏休み中の大きなニュースとして、パリオリンピックがありました。各選手が全力を尽くしている姿に、誰もがたくさんの元気と感動をいただいたことと思います。その中でも私が特に印象に残ったことは、選手たちのプレーはもちろんですが、競技後の選手たちの言葉です。

試合で敗れてしまったある選手は、「負けたことが財産になる。」「夢が叶わなかったとしても努力してきたことは絶対に無駄にはならない。」「目標には届かなかったが、積み上げてきたものは少しも消えない。」と言っていました。「努力は裏切らない」という言葉をよく耳にしますが、試合に負けて夢が叶わなかったとしても、決して努力が裏切られたわけではなく、今までの努力や悔しさはこれからの人生において大きな力となるはずです。辛く苦しい練習にも耐えてきたという自信は、どんな困難にも立ち向かっていける勇気をもたらしてくれるのだと思います。

そのほかにも、「きつい時も支えてくれた人たちに感謝の気持ちでいっぱい。」「家族がいなかったらここにはいない。」など、お世話になった方々への感謝の思いを込めた言葉や、また、「家族よりも長く一緒にいて、みんなで最後に勝てたことがとても嬉しかった」という、仲間との絆が伝わってくる言葉なども印象に残りました。

これらはどれも今後の私たちの学校生活にも通ずる大切な言葉ばかりだと感じました。この2学期はその言葉を学校でも生かして、「夢や目標に向けて最後まで諦めずに努力する子」、「自分の周りにいる友達や先生、家族や地域の皆さんに『ありがとう』という感謝の気持ちが言える子」、「何事もみんなで励まし合い、助け合える子」に児童が育ってくれることを期待して、これからも教育活動に邁進してまいります。

9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
	始業式 11:20下校	4時間授業 発育測定 11:20下校	4時間授業 発育測定 給食開始 13:20下校	夏休み作品展 委員会活動	夏休み作品展 修学旅行説明会 保護者面談日 (希望制)	ふれあいじゅく (おやつ作り)
8	9	10	11	12	13	14
		除草作業 通学班会議	ふれあいじゅく	クラブ活動	避難訓練	PTA奉仕作業
15	16	17	18	19	20	21
予備日	敬老の日	児童朝会	ふれあいじゅく 4年校外学習	クラブ活動	1・2年生活科見学	
22	23	24	25	26	27	28
秋分の日	振替休日	歌声朝会		6年修学旅行 クラブ活動	6年修学旅行	
29	30	10/1	2	3	4	5
		児童朝会	ふれあいじゅく	委員会活動	おはようタイム (運動会関係)	

ふれあいじゅくの活動

比企郡市サマーキャンプ

7月30日(火)、ときがわ町の「木のむらキャンプ場」でサマーキャンプが行われました。本校からは27名の児童が参加し、オリエンテーリング、ニジマスつかみどり、川遊びなどをして楽しみました。七郷小の友達だけでなく、他の学校の子たちとも仲良くなる良い機会となりました。



マスのつかみどり



滝に打たれて修行中

バスハイキング

8月22日(木)にはバスハイキングが行われ、31名の児童が参加しました。「カルピスみらいのミュージアム」(群馬県館林市)では、カルピスの製造工程を見学しました。また、「ぐんまこどもの国」(群馬県太田市)では、様々な施設や遊具で遊んだり学んだりしました。どのグループも上級生が下級生の面倒をよく見てくれていました。



カルピスのモニュメントをバックに記念撮影

大地震に備えて



先月8日に宮崎県で震度6弱の揺れを観測したマグニチュード7.1の地震を受けて、南海トラフ地震の想定震源域においては、大規模地震への注意を呼びかける臨時情報が発表されたのは、まだ記憶に新しいところかと思えます。埼玉県はその該当地域ではありませんが、それでも震度5弱～5強の揺れが想定されるとのこと。そのため、学校においても、日頃から避難訓練や引き渡し訓練を行い、もしもの時に備えています。

しかし、これらの訓練は児童が学校内にいることを想定したものです。登下校時など児童が学校外にいた時の災害対応も想定しなければなりません。学校では以下のように指導及び対応を考えています。

- 児童は、
 - ①頭部を保護しながらブロック塀や建物、窓ガラスなどから離れる。
 - ②揺れが収まったら、そのときの居場所や状況に応じて、指定の避難場所や学校へ避難したり、自宅等に引き返す。
- 教職員は、
 - ①可能な範囲で通学路や指定避難場所に出向き、児童の安否確認を行う。
 - ②電話やメール等での保護者・地域と連携した児童の所在確認をする。
 - ③学校で保護している児童を確実に保護者に引き渡す。
- 保護者の皆様におかれましては、可能な範囲で児童の保護やお迎え、また学校との連携をお願いいたします。

親も教員も近くにおらず、子供たちが自分で判断しなければならない場面も十分想定されます。そのような時どのように行動すべきか、日頃から学校でも家庭でも子供たちに話しておくことが大事でしょう。また、災害時に近くにいる地域の大人たちから子供たちに声をかけていただき、地域で子供たちを守っていただくようご協力をお願いいたします。

